社説

茨城県組合の協定

先月の26日、茨城県タイヤ商工業協同組合は、茨城県と「災害時におけるタイヤ修理等に関する協定」を締結し、大規模な災害が起こって県から要請があった場合、警察や消防、緊急通行車両などのタイヤ交換、タイヤ点検などを行う事を決めた。

この協定は、神奈川、宮城、東京に続き全国で4都県目の協定となるが、タイヤ専業店の社会的使命を考えると、意義深い協定だと言える。

協定について茨城県庁の生活環境部防災・危機管理部防災課は、「東日本大震災では、幸い茨城県ではパンクで車の通行が邪魔になったケースはほとんどなく、道路の亀裂による通行止めが多かったが、今回このような協定の申し出を頂いてたいへん感謝している。もし災害時、出動を要請することがあっても安心だ」。とコメントしていた。

記者は東日本大震災の後、主に宮城県のタイヤショップを訪問したが、いろんなショップで緊急通行車両はもちろん救援物資を積んだ車や復興資材を積んだトラックなど、実に多くの車のタイヤ交換を行った話を聞いた。

タイヤがいかに人々の暮らしにとって大切な商品であるかということと、タイヤショップの社会的使命がいかに大きいかということを改めて勉強させてもらった。

全国の専業店の皆様に考えて頂きたいのは、タイヤ空気充てん特別教育講習会の活動や、JATMAと協力して行っているタイヤ点検などの活動を行う各県組合の存在、その中心となっている全タ商連の存在意義はやはり大きいという事だ。

組合があるからこそ、専業店は仲間との連携を保ち、社会貢献をより効果的に果たしていくことができる。組合のない県、また活動が停滞している県の皆様には、被災された人々の足を守るために専業店ができることは何なのか、もう一度考えてみてほしい。

（木本　浩央）

非金属製チェーン

昨冬は27万ペア

降雪減で前年に届かず

日本自動車交通安全用品協会（JASAA）は、2014年度（14／4月～15／3月）の乗用車用非金属製タイヤチェーンの生産・出荷動向についてまとめて発表した。

同協会では生産出荷数にほぼミートするものとして、同協会が発行する認定証枚数（準生産）とメーカー出荷の際貼付した枚数（出荷）、および在庫数を集計している。

それによると、2014年度の認定マーク発行枚数は合計32万8500枚、前年度比110・5％と06年度以来8年ぶりに30万枚を突破した。これは、前3年度が非金属チェーンの需要が低下した。14年度、関東地区には前年程の積雪はなく、15年に入って首都圏では積雪なし、関西、中四国、九州地域が積雪でった。

前年より動いたことを反映して、14年度出荷数は合計26万6016ペア、同90・1％に止まった。

行枚数	
販売数	
204,745	
236,640	
272,242	
260,832	
295,372	
266,016	

ハンコック

独テストでトップ評価

BMW装着車で

ドイツの自動車情報サイト「オートビルド」で「2015オートビルド・パフォーマンス・タイテストではドライ、ウェット、転がり抵抗、乗心地、静音性の5つのファクターで評価され、その結果、ハンコックの「Ventus S1 evo」が好評価を獲得し、トップタイヤとなった。

OEM情報

東洋精器工業

インポートカーショー出展

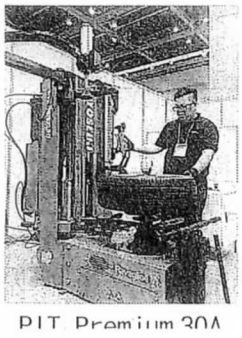
新製品の実演デモ

タイヤ整備機器サプライヤーの東洋精器工業（兵庫県・阿瀬正浩社長）は6月5日から7日、東京ビッグサイトで開催された「S・I・Sスペシャルインポートカーショー プレミアム」にブースを出展した。

これは輸入車のモーターショーで、最新モデル、スペシャルモデル、ヴィンテージ、カスタムカーなど様々な輸入車が展示される。

輸入車正規インポーターからはアストンマーティン、ジャガー・ランドローバー、テスラ、フォルクスワーゲン、ベントレー、メルセデス・ベンツの6社が出展した。

東洋精器ではタイヤチェンジャーから、レバーレスチェンジャーのハイエンドモデルである「PIT Premium」



PIT Premium 30A

CSR情報

■ブリヂストン

ブリヂストン磐田工場は先月16日、磐田市の「獅子ヶ鼻公園」内の「エコピアの森　磐田」で森林教室を実施した。

この森林教室は、森の様々な生き物を観察しながら、森の役割や機能、生態系について学ぶもので、今回は磐田市内から13組28名の参加があった。

人事異動

※（　）内旧職

【ブリヂストン】

◇人事異動（7月1日付）

▽タイヤ開発第1本部長（タイヤ開発第1本部長兼大型特殊タイヤ開発第2部長）小林隆史　▽内製企画本部長兼国際渉外部主任部員（内製企画本部長兼SC統括本部長兼国際渉外部主任部員）望月祐二　▽オリンピック室長（本部長相当）兼グローバルオリンピックマーケティング本部長（オリンピック室長（本部長相当）兼グローバルイベントマーケティング室長（本部長相当））駒見俊彦　▽化工品生産本部長（関工場長兼産業資材事業本部主任部員兼化成品・建設資材事業本部主任部員）山下修市　▽GLC企画管理本部長兼経営企画部主任部員兼国際渉外部主任部員（GLC企画管理本部長兼GLC業務管理部長兼経営企画部主任部員兼国際渉外部主任部員）根岸博一　▽関工場長兼産業資材事業本部主任部

読売の政治欄に、国会議事堂内にある一軒の書店「五車堂書房」の記事が掲載された。

簡単に記事の説明をすると、五車堂も一般書店とは、異なる。

五車堂の店主・幡場益（はたば・すすむ）さんは半世紀にわたって、本を通じて政治家と接してきたので、ハンパな見識ではない。

そして本の売り上げや蔵書数も年々、減少しているという。

五車堂の店名は、中国の故事（荘子）から

か、信じられないようなハナシだ。

従って前尾繁三郎の自宅は、図書館級だったそうだ。

▼読書家にはいろいろなタイプがいる。